

誰かの仕事でできている

先日、知人から手作りマスクをいただきました。ガーゼ素材で、肌触りの優しい、長時間着けても耳が痛くならない素敵なマスクです。私は、冬から春にかけて花粉症対策で外出時はいつも使い捨てマスクを使っていたのですが、そろそろ家にあった在庫が少なくなりどうしようかと思っていたところだったので、早速使っています。そして自分でも作ってみたいくなり、調べてみたらネットで作り方が公開されていました。現在制作中です。

皆さんは普段、自分が世の中を動かしている、あるいは自分のしたことが世の中に影響している、ということを考えたり感じたりすることはあるでしょうか。世の中を、という大げさなことではなくとも、自分のしたことが誰かを動かしたり、誰かの役に立ったりしていると感じることはありますか。

そんなこと考えたこともない、かもしれません。家庭や職場であるいは学校で。日常生活を送る中で、人は様々な影響を与え合って過ごしています。何かを動かしたり作ったり、あるいは壊してきれいにしたり、新しいものに作り直したり、誰かと何かを話したり、共同で作業したり。実は知らない間に皆さんも世の中を動かしている、と言えます。

そして実際に今、外出自粛や休業要請が続く中、皆さんの中にはそれでもアルバイトや仕事に行っている人もいることでしょう。スーパーやコンビニ、生活雑貨を扱う小売店、バスや鉄道などの公共交通機関、郵便、運送配達、土木建築、メンテナンス、清掃、病院、役所等々…。世の中が以前より少し不便ながらも動いているのは、そこで働いている人がいるからです。働いている人自身は自分の仕事だからしているだけで、特に世の中を動かしているなんて意識はないのかもしれませんが。数年前のCMで流れていたように、世の中は名もなき多くの「誰かの仕事でできている」わけです。

自分のしたことが実感を持って誰かの役に立ったり、世の中を動かしたりしていると思えることは今のところ少ないと思いますが、神戸工業で学ぶ「モノづくり」のための知識や技術は、将来、世の中を動かすための力になるものです。学校が再開したら、未来の世の中を動かす力をつけるために、たくさん学んでください。それまでは今できることをしっかりやって、健康に過ごしてくださいね。

国語科 井上真子

